

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
06601	浄化槽整備・維持管理事務	建設水道課	浄化槽担当	漆戸 芳樹	宮澤 治
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	2167
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	事業コード 0404	事業名(歳出予算見積書) 環境衛生事業	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節 (コード選択)	1節	町の基盤を整備する	
		項[基本施策] (コード選択)	314	下水道の普及	
		主な取り組み (コード選択)	3146	辺地総合整備計画等に基づく合併浄化槽整備	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度			<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

下水道事業区域外及び農業集落排水事業区域外の地域住民

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

水洗化の促進により、生活の向上及び環境浄化を進めるとともに適正な維持管理を実施してもらい、地域住民の快適な暮らしと清らかな水の流れを守る。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 環境省の補助事業「循環型社会形成推進補助金」により、浄化槽の整備促進を図る
- 辺地総合計画により、鴻の田地区の浄化槽設置の実施
- 浄化槽の適正な維持管理のための講習会の開催(町浄化槽維持管理組合の自主事業)
- 浄化槽の放流水の水質検査の実施(法廷検査の実施されていない浄化槽を対象)

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)
① 指標名	浄化槽設置基数	7	8	15	0.53	8	8
説明	年度別設置基数	目標値設定の根拠 補助金交付申請数					
② 指標名	放流水の水質検査の実施(組合事業)	28	0	0	#DIV/0!	0	0
説明	町組合の独自事業から法定検査への移行	目標値設定の根拠 22年度からは、法定検査に移行					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)
① 指標名	浄化槽設置による水洗化率の向上	85	86	86	1.00	86	86
説明	公共・農業区域外の水洗化率	目標値設定の根拠 飯沼・藤沢・中の橋・源上・向袋・上野・鴻の田地区の浄化槽設置済人口・区域内人口					
② 指標名	11条法定検査受験率	13	89	100	0.89	89	89
説明	町組合事業から法廷検査への移行	目標値設定の根拠 11条法定検査受験基数/槽設置基数					

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度決算	平成23年度見込み						
		3,622	11,742	7,322	13,244						
対前年比	%		324.2	62.4	180.9						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		1,216	3,571	5,181	10,650						
B) 一般財源(税金)		2,406	8,171	2,141	2,594						
①事業費	(千円)	1,824	9,948	5,541	11,520						
対前年比	%		545.4	55.7	207.9						
②人件費の概算	(千円)	1,798	1,794	1,781	1,724						
対前年比	%		99.8	99.3	96.8						
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/	
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.21 0.21 0.21	0.00 0.00 0.00	0.21 0.21 0.21	1,798	1,794	1,781	1,724	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 下水道整備事業
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 住民からの問い合わせに対応

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

鴻の田地区辺地対策事業で5基、浄化槽設置事業で3基、合計8基設置した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

平成23年度に辺地対策事業で鴻の田地区に10基の浄化槽を設置する。

23年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

7人槽10基を計上

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

下水道・農集排整備地区以外の区域を継続して浄化槽で整備するとともに、辺地対策事業が最終年度のため、鴻の田地区浄化槽整備を積極的にすすめる。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択